

国際観光学科 2年 前期 専門基礎科目／専門科目

1. データ・マーケティング論
2. 企業論
3. Regional Value Creation
4. 地域開発実務演習(AT)
5. 地域開発実務演習(FT)
6. ガイディング論
7. Digital Transformation (DX) in Tourism
8. 観光学研究Ⅱ
9. 職業体験(インターンシップを含む)実習事前指導

国際観光学科					
科目名： データ・マーケティング論				担当教員 氏名： 齋藤 望	
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択
2	2年次	前期	専門基礎科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：					
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード
データを活用して観光産業のマーケティング戦略を立案、実行、評価する能力を育成することを目指す。この科目を通して、学生はデータを活用、観光業界の地域の課題の発見力、課題解決力、提案力について実践的なスキルを身につけることができる。					
授業における学修の到達目標					
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)					
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。		
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。		
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。		
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト：	%	レポート： 30 %	発表： 40 %	実技試験：	% その他： 30 %
特記事項：					
アクティブラーニング要素：					
課題解決型学修 ディスカッション デイバート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：					
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)	
				学修内容	学修に必要な時間(分)
①イントロダクション：データマーケティングの基礎				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
②観光業界におけるデータの役割				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
③データ収集方法				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
④データ分析技術①				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑤データ分析技術②				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑥市場調査の計画と実施				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑦観光客の行動分析				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑧ソーシャルメディアデータの活用				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑨データに基づく製品開発とイノベーション				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑩顧客関係管理(CRM)とデータ活用				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑪デジタル広告とプロモーション				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑫ケーススタディ①				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑬ケーススタディ②				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑭ケーススタディ③				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
⑮まとめ				【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	240
使用テキスト：				その他参考文献など：	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：					

国際観光学科						
科目名： 起業論				担当教員 氏名： 米田晶、森田由樹子、大塚憲一		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	2年次	前期	専門基礎科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		旅行・観光業および起業した経験から実践形式の講義を実施する				
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
観光業、とりわけ、旅行業、宿泊産業、飲食サービス業 や添乗員派遣業などの起業に際して必要な知識全般について起業経験者による授業を実施する。実際の経験を中心に、起業に際しての心構え、乗り越えるべき課題や、実現のための資金、法制度等の条件整備のほか、留意すべきポイントなどをテーマに展開する。主に着地型観光、一般旅行業起業のための基礎講座である。					起業、マーケティング、エコツーリズム、論理的思考法、ビジョン、コンセプト、地域振興	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。			
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：		%	レポート： 50 %	発表： 20 %	実技試験：	% その他： 30 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①【米田】ガイダンス:概論				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
②【米田】論理的思考法				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
③【米田】起業事例紹介:宿泊業(ゲストスピーカー)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
④【森田】グループワーク:県内の事例を収集				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑤【森田】プレゼンテーション:県内の事例研究				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑥【森田】まとめ:県内の宿泊事情				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑦【大塚】起業事例紹介:旅行業				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑧【大塚】グループワーク:立山黒部アルペンルートの事例を収集				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑨【大塚】プレゼンテーション:立山黒部アルペンルートの事例研究				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑩【大塚】まとめ:旅行業				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑪【森田】ビジネスモデル構築:テーマ、ビジョン、コンセプト				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑫【森田】グループワーク:起業モデルの構築(1)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑬【森田】グループワーク:起業モデルの構築(2)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑭【大塚】プレゼンテーション:ビジネスモデル構築				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑮【米田】まとめ				【事前】全配付資料等の確認 【事後】授業の復習	240分	
使用テキスト：				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ツーリズム分野での起業について、実践的な内容をアクションラーニング形式で実施する講座です						

国際観光学科

科目名: Regional Value Creation				担当教員 氏名: 齋藤 望		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門基礎科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 観光産業およびコンサルタントでの業務経験がある教員が、地域の課題解決を通して地域の価値を高める授業を展開する。						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
この授業では、地域活性化と観光振興の観点から、射水市役所と連携し、富山新港花火大会の栈敷の商品価値を高めるためのイノベティブな思考と地域課題解決の提案方法を学ぶ。また、来場者調査を行い、現状を把握し、解決策の提案を行う。学生は、地域資源の有効活用、イベント企画・運営、マーケティング戦略、持続可能な地域開発について学び、実践的な提案を行う能力を養う。					地域価値創造 イノベティブ思考 地域課題解決 持続可能な開発 イベントマーケティング 地域連携	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
H コミュニケーション力			言語や、身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 40 %	発表: 40 %	実技試験:	%	その他: 20 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション デイバート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜フィードバックを行う。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な 時間(分)	
①イントロダクション&オリエンテーション				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
②地域価値創造の基本概念				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
③地域資源の分析と活用(ゲストスピーカー)				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
④イベント企画の基礎				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑤イノベティブ思考の導入				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑥マーケティング戦略の基礎				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑦持続可能な地域開発				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑧地域連携とステークホルダーマネジメント				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑨プロジェクト計画の立案				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑩中間発表				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑪提案のブラッシュアップ				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑫プロモーション戦略				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑬リスク管理と緊急対策				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑭最終発表				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑮フィードバック&まとめ				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
使用テキスト: 適宜資料を配付する。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

国際観光学科						
科目名： 地域開発実務演習(アドベンチャー・ツーリズム)				担当教員 氏名： 米田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
富山県を舞台にしたアドベンチャーツーリズムの演習を行う。具体的には、富山県内の生活が垣間見えるような地域の文化を体験できるツアーを学生自身が企画し、実施する。テーマ性が高い着地型観光で地域の魅力を体感するとともに、地域振興に役立つツアー企画・実施を目指す。					アドベンチャー・ツーリズム、地域ブランディング、着地型観光、エコツーリズム、地域経営	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献・自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： %		レポート： 20 %		発表： 30 %		実技試験： 20 % その他： 30 %
特記事項：						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
① ガイダンス				配布資料を読みこむ	240分	
② 事前指導：コースの下見と役割分担				関連資料収集	240分	
③ 事前指導：ツアー演習				ツアー準備	240分	
④ 事前指導：ツアー演習				ツアー準備	240分	
⑤ 演習指導：ツアー実施のながれ				実習プランの内容確認	240分	
⑥ 演習指導：ツアー実施のながれ				実習プランのコース確認	240分	
⑦ 演習指導：コースの下見				実習プラン内のコロナ対策が必要なポイントを確認	240分	
⑧ 演習指導：コースの下見				実習プラン実施時に必要な役割割り	240分	
⑨ 演習指導：ガイディング準備				ガイディング内容をまとめる	240分	
⑩ 演習指導：ガイディング準備				ガイディング・コロナ対策準備	240分	
⑪ 演習指導：ツアー演習(1)				ガイディング・コロナ対策準備	240分	
⑫ 演習指導：ツアー演習(2)				ガイディング・コロナ対策準備	240分	
⑬ 演習指導：ツアー演習(3)				アンケート内容を理解し実施	240分	
⑭ 演習指導：ふりかえり				演習内容をふりかえりまとめる	240分	
⑮ 事後指導：まとめ(地域振興に資する観光とは)				地域振興の視点でツアー内容を分析する	240分	
使用テキスト：				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 国内外から多くの注目を集めるアドベンチャーツーリズムの演習です。観光産業のダイナミックさや将来性を考えたい学生にはピッタリの授業科目です。						

国際観光学科

科目名: 地域開発実務演習(食のツーリズム)				担当教員 氏名: 齋藤 望		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード
地域の食文化や特産物を活用した観光開発の計画立案能力を養うことが挙げられる。この科目を通して、学生が主体的に地域の食に関わる資源の発掘から、それを活用した観光商品の企画、実施方法の検討、提案に至るまでの一連のプロセスを学ぶ。また、地域の人々や事業者との連携方法についても理解を深め、地域社会に対する貢献と地域経済の活性化を図ることも目指す。						フードツーリズム ブランディング 着地型観光 持続可能な観光
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献・自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 30 %	発表: 40 %	実技試験:	%	その他: 30 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①イントロダクション				【予習】資料 【復習】資料	240分	
②地域資源の調査方法				【予習】資料 【復習】資料	240分	
③マーケットリサーチ				【予習】資料 【復習】資料	240分	
④プログラム企画の基礎				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑤地域協力の形成				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑥ブランディングとプロモーション				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑦イベント企画と実施				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑧SNSとデジタルマーケティング				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑨演習実施①				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑩演習実施②				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑪演習実施③				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑫演習実施④				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑬演習実施⑤				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑭演習実施のフィードバック				【予習】資料 【復習】資料	240分	
⑮まとめ				【予習】資料 【復習】資料	240分	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

国際観光学科

科目名: ガイディング論				担当教員 氏名: 齋藤 望		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード
この授業では、観光ガイディングの基本原則、技術、および実践方法について学ぶ。地域文化、歴史、自然環境の深い理解に基づいて、効果的なコミュニケーションと顧客満足度を高めるガイディング技術やスキル取得を目指す。また、持続可能な観光と文化遺産の保護におけるガイドの役割についても考察する。授業を通じて、理論と実践の両方を組み合わせ、将来の観光業界で活躍できる専門的なガイドを育成することを目標とする。						ガイディングスキル、コミュニケーション力、ホスピタリティ、カスタマーサービス
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術			社会貢献、自己実現に技術が活用できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。			
H コミュニケーション力			言語や、身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 30 %	発表: 50 %	実技試験:	%	その他: 20 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、 <u>フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①イントロダクション: 観光ガイディングの役割と重要性				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
②ガイディングの基本原則				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
③コミュニケーション技術の向上				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
④インタープリテーションの技術				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑤文化遺産と自然遺産のガイディング				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑥持続可能な観光とガイディングの関係				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑦特別なニーズを持つ顧客への対応				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑧トラブルシューティングとリスク管理				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑨ガイドのためのデジタルツールとテクノロジー				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑩ツアープランニングと開発				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑪カスタマーサービスと顧客満足度				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑫ガイディングにおける倫理とプロフェッショナリズム				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑬マーケティングと自己プロモーション				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑭フィールドトリップ: 現地ガイディング実践				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
⑮総括と将来展望				【事前】配布資料等を読む 【事後】授業の復習	240分	
使用テキスト: 適宜配布する。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

国際観光学科

科目名: Digital Transformation (DX) in Tourism				担当教員 氏名: 齋藤 ティム、鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		The instructors possess considerable expertise in instructing ICT at the secondary and tertiary levels, as well as substantial practical experience and knowledge in the domain of Engineering.				
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
The course is designed to provide students with a comprehensive overview and expertise in the broad area of digital transformation in tourism. Emphasis is placed on developing understanding of the application of technology to enhance the tourism sector. This includes a focus on strategies and technologies that address the needs of a diverse range of travelers, ensuring accessibility and ease of travel for all, including those with disabilities.					Assistive & Inclusive Technologies Accessible tourism Barrier Free People with Disabilities (PWD)	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			Students will gain a comprehensive understanding of the merits of accessible tourism ways technology can be leveraged to overcome barriers for people with disabilities.			
B 専門的技術			Students will develop expertise in using and refining the use of technology-based solutions for accessible tourism.			
F チームワーク・リーダーシップ			Students will learn to collaborate with stakeholders and users with disabilities to consider the importance of inclusive tourism experiences.			
G 倫理観			Students will learn about ethical considerations related to accessible tourism including issues related to laws, accessibility provisions, social and corporate responsibility and human rights.			
H コミュニケーション力			Students will develop effective communication skills through group work and choosing language when interacting diverse audiences.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %		レポート: %		発表: 40 %		実技試験: %
						その他: 60 %
特記事項: In this practical subject, students will engage in fieldwork and interact with people from diverse backgrounds, requiring respect for stakeholders when representing the department and college. Integrity and self-efficacy are paramount in this task.						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 累積評価に加えて、学生は中間レポートと最終プレゼンテーションを作成し、教授と交渉します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 発表、レポート、課題のフィードバックは個別に指導する。						
授 業 計 画					準備学修(予習・復習等)	
					学修内容	学修に必要な時間(分)
① Overview of accessible tourism, concept of accessible tourism, importance in promoting inclusive travel					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
② Technology-based accessibility solutions for tourism: innovations and initiatives					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
③ Technology-based accessibility solutions for tourism: international case studies					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
④ Technology-based accessibility solutions for tourism: guest speaker					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑤ Assistive technologies for tourism: hearing aids, mobility aids, and tactile maps etc					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑥ Accessibility guidelines: legal and regulatory frameworks, ADA, UN World Tourism Organization's Accessible Tourism for All etc					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑦ Effective Communication Strategies for Interactions (Digital & Face to Face)					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑧ Personal Project Report: research, preparation and production					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑨ Pre-fieldwork technical training					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑩ Group work planning and preparation					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑪ Fieldwork: group implementation					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑫ Fieldwork: group implementation					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑬ Fieldwork: individual reflection					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑭ Group work: preparing findings, synthesis, and evaluation					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
⑮ Presentation of fieldwork findings					【予習】資料 【復習】資料	【予習】90分 【復習】90分
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Explore the exciting opportunities to create innovative and inclusive travel experiences by enrolling in this course, and make a positive impact on the lives of people with disabilities through the use of technology.						

国際観光学科

科目名： 観光学研究Ⅱ				担当教員 氏名： 齋藤 望、鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード
教員と学生間および学生相互の積極的なコミュニケーションを基礎として、設定されたテーマ・対象・課題等に対する学修・研究を進めていきます。観光学Ⅰからの継続科目となり、学修・研究を進め、最終的に学術論文の作成に結びつく能力の獲得を目指す。AD教員からの指示にもとづきテーマ・対象・課題に取り組み、その経過または成果を適切な方法で表現することができる。また、学術研究の完成に向けた学修・研究を行うことができる。						主体性 コミュニケーション力 課題解決力
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
B 専門的技術				社会貢献、自己実現に技術が活用できる。		
C 論理的思考力				情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できる。		
D 問題解決力				問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理してその問題を解決できる。		
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %		レポート: 20 %		発表: 50 %		実技試験: %
						その他: 30 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 個別指導により、必要な(本人にとって)知識の習得、その題目にあった論文構成の方法、また、問題点があればその解決法の指導を行う						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①イントロダクション				配付資料を読む	240分	
②個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
③個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
④個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑤個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑥個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑦個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑧個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑨個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑩個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑪個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑫個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑬個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑭個別研究指導				執筆に必要な学習を行う(調査、フィールドワーク等)	240分	
⑮卒業研究発表およびまとめ				学生等の意見や指摘を咀嚼して考察を行う	240分	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

国際観光学科

科目名: 職業経験(インターンシップ含む)実習事前指導				担当教員 氏名: 齋藤 望、鷹西 恒、齋藤 ティム		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード
観光産業界の各分野における実践活動を通じて、顧客とは何か、仕事とは何かについて考え、また自らの強み、弱みに気づき、人間的な成長を期するために実施する。具体的には、6ヶ月間にわたる実習を行い、様々な業界の実態、将来に向けた方向性についても学ぶ。また事前指導において設定した個人目標に対する自己評価、指導社員評価、教員評価を日常的に実施する。実習終了時には、現地指導社員、指導教員による総括評価を受ける。実習の目標は、①人間として成長する、②国内・海外で働くことを理解する(社会人力向上)、③語学力・英語力(留学生は日本語)を高める、の3点である。						準備、心構え、目標認識
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			職業経験(インターンシップ含む)の知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			職業経験(インターンシップ含む)に必要な情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
E 自己管理能力			自らを律して行動できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験:	%	その他: 50 %
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 個別に対応する。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①職業経験(インターンシップ含む)の意義、内容、今後のスケジュール				配布資料に基づき予復習	60分	
②職業経験(インターンシップ含む)プログラム準備①				配布資料に基づき予復習	60分	
③職業経験(インターンシップ含む)プログラム準備②				配布資料に基づき予復習	60分	
④職業経験(インターンシップ含む)プログラム準備③				配布資料に基づき予復習	60分	
⑤職業経験(インターンシップ含む)プログラム準備④				配布資料に基づき予復習	60分	
⑥職業経験(インターンシップ含む)プログラム準備⑤				配布資料に基づき予復習	60分	
⑦プログラム実施場所の観光の実態①				配布資料に基づき予復習	60分	
⑧プログラム実施場所の観光の実態②				配布資料に基づき予復習	60分	
⑨プログラム実施場所の観光の実態③				配布資料に基づき予復習	60分	
⑩目標設定①				配布資料に基づき予復習	60分	
⑪目標設定②				配布資料に基づき予復習	60分	
⑫目標設定③				配布資料に基づき予復習	60分	
⑬職業経験(インターンシップ含む)における留意事項				配布資料に基づき予復習	60分	
⑭職業経験(インターンシップ含む)における安全管理				配布資料に基づき予復習	60分	
⑮まとめ				配布資料に基づき予復習	60分	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						